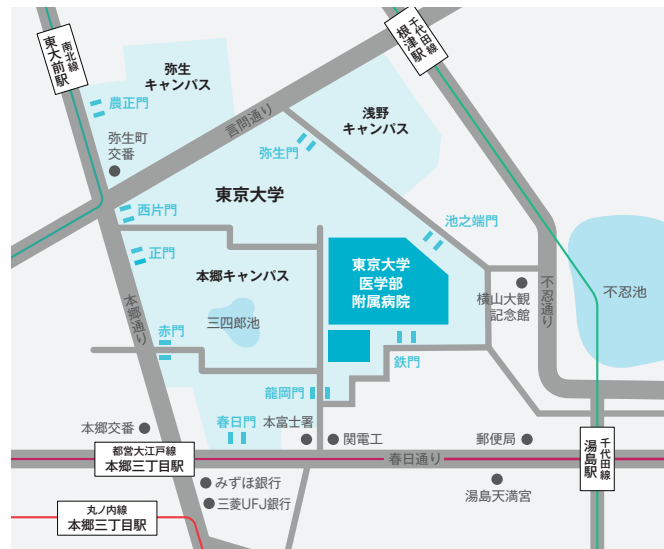




電車を利用

- 東京メトロ丸ノ内線**
「本郷三丁目駅」2番出口より徒歩約10分
- 都営地下鉄大江戸線**
「本郷三丁目駅」5番出口より徒歩約10分
- JR山手線**
「上野駅」公園口より徒歩約15分
- 東京メトロ千代田線**
「湯島駅」1番出口より徒歩約10分
「根津駅」2番出口より徒歩約10分
- 東京メトロ南北線**
「東大前駅」1番出口より徒歩約20分

TAXI タクシーを利用

- JR山手線・京浜東北線**
「上野駅」正面玄関口より約10分
「御徒町駅」北口より約5分
- JR中央線・総武線**
「御茶ノ水駅」西口より約5分

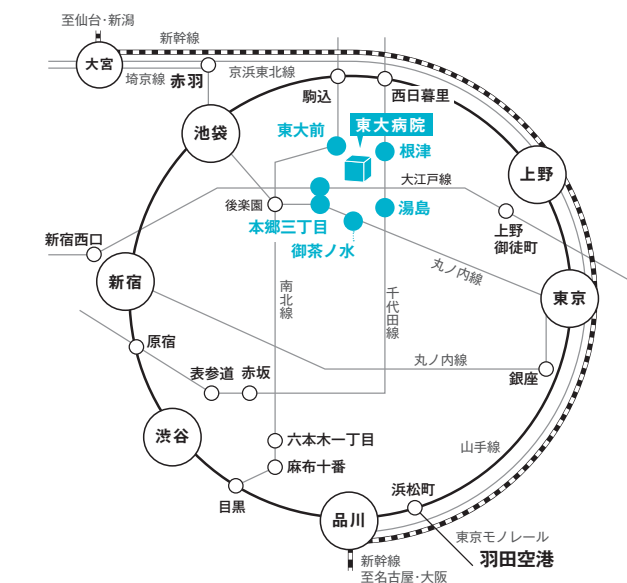
バスを利用

上野駅

乗車バス停：上野公園山下 6番のりば
系統番号：学01(東大構内行き) → 下車バス停：東大病院前
(途中御徒町駅「上野松坂屋前4番のりば」に停車します)

御茶ノ水駅

乗車バス停：御茶ノ水駅前 5番のりば
系統番号：学07(東大構内行き) → 下車バス停：東大病院前



少し足を伸ばせば上野駅。渋谷、新宿、銀座は30分圏内。
地下鉄4線とJRが利用でき、アクセスは抜群です。

お問い合わせ

hd 東大病院
The University of Tokyo Hospital

TEL 03-5800-6520 (看護部直通)
E-MAIL todainurse-inquiry@umin.ac.jp

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

[東大病院 HP]
<https://www.h.u-tokyo.ac.jp/>
[東大病院看護部 HP]
<https://www.h-todai-kango.jp/>

東大病院看護部HPでインタビュー動画公開中! ▶



hd 東大病院
The University of Tokyo Hospital

#BeColorful!

みて、触れて、考える。





#BeColorful!

—— み て、触 れ て、考 え る。 ——

患者さんそれぞれの気持ち、看護師それぞれの想いを大切にしながら、
私たちは対話を重ね、ともに新たな一步を踏み出す努力を続けています。
多彩な個性が混じり合い、互いの色を重ねることで、より豊かなケアを。
みて、触れて、考えて、患者さん自身の力を引き出す看護を目指しています。



東大病院理念

本院は臨床医学の発展と医療人の育成に努め、
個々の患者に最適な医療を提供する。

東大病院の目標

- 患者の意思を尊重する医療の実践
- 安全な医療の提供
- 先端医療の開発
- 優れた医療人の育成

看護部の理念

1. 患者に最適な看護を提供します
2. 優れた専門職業人を育成します
3. 医学と看護の発展を目指します

私たちの基本姿勢

1. 学び続ける姿勢
2. チャレンジする精神
3. 誇りと喜びを持って働く姿

期待する看護職像

1. 患者の参加を促し、患者の意思を尊重しながら、
確かな知識・技術・判断に基づいて、患者の生命力を引き出す看護を提供する。
2. 組織の一員としての自覚をもち、医療チームにおいて互いの能力を
最大限発揮できる関係を築き、主体的に責任を持って自らの役割を果たす。
3. 仕事に対する誇りをもち、医療の進歩、社会の変化に対応する
高度な専門的能力を身に付けるために自己研鑽に努める。

看護部長あいさつ



私たちが大切にしているのは、患者さんの生命力を引き出す看護、そして「みて、触れて、考える」看護です。診療・教育・研究の3つの役割を担う当院は、江戸時代に始まる歴史を持ち、当時から新しい医療を開発し、医療を支える人々を教育して、患者さんへ最適な医療を提供してきました。当院看護部が目指すのは、さまざまな職種、患者さんやご家族、そして社会とともに、新しい医療、新しい看護をつくっていくことです。私たちは、私たちの看護に共感してくださる方と一緒に働きたいと思っています。看護は患者さんの体や心が持つ力、そして人とのつながりが持つ力を引き出す、とてもやりがいのある仕事です。皆さんとともに働ける日が来ることを、楽しみにお待ちしております。

看護部長 武村 雪絵

病院概要



- 設立／1858年(安政5年)
- 病床数／1,226床(治療棟21床含む)
- 患者数／入院患者数：約1,000名※1日平均
外来患者数：約2,800名※1日平均
- 職員数／約4,000名(看護職員：約1,400名)
- 一般病棟の看護師配置／7:1
- 看護提供方式／固定チーム担当看護師制・ペア制

- 手術・分娩数実績**
- 手術件数／年間 約 10,000 件
 - 分娩件数／年間 約 900 件

特定機能・その他指定

- 特定機能病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 救命救急センター
- 小児医療センター
- 総合周産期母子医療センター
- エイズ拠点病院
- 東京都災害拠点病院
- 臨床研究中核病院
- がんゲノム医療中核拠点病院



#Be Growing!

日々の成長が、理想の看護へつながる。

新人教育体制

入職1年目の前半はエルダー、後半はプリセプターが中心となって、知識・技術面をサポート。職場や仕事に適応していくために、年間を通して心理面のサポートも行います。スタッフ全員で新人を育てていく体制が整っています。



段階を踏んだ丁寧な指導のもと、 少しずつ自身のステップアップを実感

倉西 朝陽（入院棟A8階北 新人看護師 2022年4月入職）



10代の頃、入院中の祖母をケアする看護師さんの優しさに触れたことからこの道を志し、教育体制が充実している当院に入職しました。現在、エルダーやプリセプターの先輩の指導のもと、少しずつ経験を積んでいます。コロナ禍で実習も少なく、入職前は不安でしたが、先輩方の丁寧な説明を受けながら手技などを学習し、見守りのもと模擬実施でアドバイスを受け、ついに患者さんへの実践に臨むという形で、徐々に一人でできることを増やしています。いつも優しく丁寧に教えてくださり、不安なことはその都度、気兼ねなく相談できることが、大きな安心感につながっています。まだ緊

張する夜勤も、先輩と一緒に入る際は、きちんと患者さんを回って業務を行っているか確認してくださるので、とても心強いです。他の先輩方にもいつも声をかけていただき、皆さんに見守られているのを感じています。まだまだ自身の知識や経験不足を痛感することもあります。患者さんの異変に気づいて報告し、先輩にほめていただいたとき、看護師として大きなやりがいを実感しました。これからも患者さんに寄り添い、その状況や気持ちを考え、適切な看護を行える知識と技術を身につけて、実践につなげていきたいと思っています。

患者さんへの声の掛け方や、先輩への
明確で端的な伝え方に気をつけています。



本人のペースで着実に成長できるよう支え、 「考えて行動する」意識を育んでいく

吉野 泰弘（入院棟A8階北 エルダー 2020年4月入職・経験者採用）／ 大淵 葵（入院棟A8階北 プリセプター 2018年4月入職）

エルダーとして、新人看護師の技術面と業務面の指導をしつつ、プリセプターとともに精神的なフォローも行っています。最初は基礎となる知識や技術を教えていきますが、学習が進んだら、徐々に「どのように考えたうえでの行動なのか」に意識を向けてもらいます。倉西さんは当初、患者さんとのコミュニケーションに緊張していましたが、現在は円滑に行え、会話しながら症状を把握して看護に発展させる場面も増えてきました。次の段階として、「考えて行動する」ことを意識し、一歩ずつできることを増やしていったほしいと思っています。（吉野）

エルダーとともに、倉西さんの体調と精神面に気を配りつつサポートをしています。まめに声をかけ、新人看護師がとりやすい行動を常に想定し、必要があれば早めのフォローを心がけています。一方で、わからないことは、まず自分で調べて考えてもらうことで、本人の理解につなげています。最近の倉西さんは、周囲を見て状況を把握しながら行動し、空き時間に業務を進めたりカンファレンスでの発言が増えたりと、着実に成長していると感じます。このまま基礎を忘れず、根拠を理解して患者さんと関わりながら、経験を重ねてほしいです。（大淵）

新人が話しかけやすい雰囲気づくりと、
成長度の確認・共有を重視しています。



吉野さん（左）と大淵さん（中央）と倉西さん（右）

CHECK!

- ☑ エルダー：「先輩」「年長者」という意味。1年目の前半に集中して関わり、基本的な看護技術や知識面を指導します。
- ☑ プリセプター：新人看護師（プリセプティ）を支援する先輩看護師。常に伴走してくれ、何でも相談できる身近な存在です。

基礎づくりも、研修でしっかりサポート。 看護部全体で新人を見守り、支えます。

新人看護師が少しずつ自信をつけながら成長を続け、
チームの一員として活動できるように。
卒後研修を実施し、看護部全体でサポートしていきます。

Senpai's Voice Part.1

多くの先輩方に支えられ、入職1年目を経て成長を実感

稲葉 晃子（入院棟A12階南 2020年4月入職）

入職後は看護の基本やコミュニケーションなど、仕事に活用できるたくさんことを学びます。また他病棟の新人職員の経験も共有でき、多くの知見を得られました。最初は仕事の時間配分が難しく、疾患の知識も不十分なために戸惑うこともありましたが、そのようななか、困っているときは、すぐにエル

ダーやプリセプターの先輩方が声をかけてくださいました。1日の振り返りでも、わからなかった点の説明や今後のアドバイスをいただくことができ、本当に心強かったです。先輩方をはじめ病棟全体でサポートしていただきながら、同期と切磋琢磨して1年を過ごし、自分なりの成長を実感しています。



OUR EDUCATION.1

東大式 新人受け入れ 体制

スタッフ全員で新人を育てていく安心体制

エルダーとプリセプターを中心に、各スタッフが互いに連携しながら新人教育の充実を図り、新人看護師が職場にスムーズに適応して、確実に技術を習得していくことを目指しています。



新人受け入れのための6つの機能

スムーズな職場適応と確実な知識・技術習得のために

- 1 新しい役割・生活への適応を促す
- 2 個別的な教育計画を立て、評価し、修正する
- 3 適切に業務を割り当て、仕事を通じて知識・技術・判断を伝える
- 4 心理的な支援を行う
- 5 安全管理を行う
- 6 病棟外のリソースを用いる

OUR EDUCATION.2

卒後研修

卒後研修で、着実にステップアップを

最初の1年は、日々の業務のほか、卒後研修（レベルI研修を含む）で段階的に実践能力を高めます。面接やチェックリストで成長を確認しながら、看護師として着実に経験を積むことができます。

4月	オリエンテーション ● 東大病院・看護部の理念 ● 職員としての心・勤務管理 ● 看護者の倫理 ● 教育体制について	● 社会人の基本姿勢 ● 医療安全・感染管理 ● 診療システム ● 個人情報保護 ● ストレスマネジメント ● シャドーイング研修
5月	レベルI-A（1日間） ● ストレスマネジメント ● AED・BLS ● 看護技術 ● 医療安全・感染管理	★1ヶ月振り返り
7月	レベルI-B（1日間） ● ストレスマネジメント ● コミュニケーション ● 看護技術 ● 医療安全・感染管理	★3ヶ月振り返り
10月	★6ヶ月振り返り	
11月	レベルI-C（1日間） ● ストレスマネジメント ● 医療安全・感染管理 ● 看護技術 ● 看護倫理	● 社会人の基本姿勢 ● 自立に向けて
2月	★1年振り返り	

看護師の
基本技術を、
しっかり
学びます



緊急時の対応も
演習で学びます



1年を
振り返ると、
成長を
実感できます





#Be Active!

チーム全体で支え合い、キャリアを形成。

キャリア発達支援

仕事に慣れてチームの一員としての役割を果たせるようになると、3年目の後半頃からリーダー業務を経験していきます。キャリアラダーに基づき段階別に目標を設定しながら、無理なく看護師としての成長を目指します。



リーダーとして得た学びの成果をメンバーにも伝達、看護実践に活かす

風間 健吾（入院棟B5階 チームリーダー 2013年4月入職）

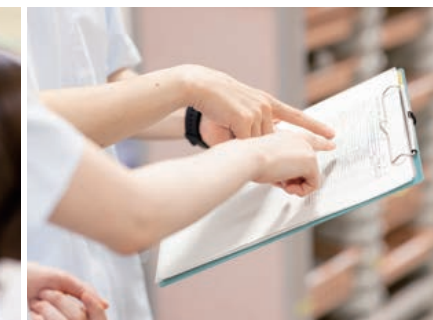
高度心不全センターで重要薬剤や補助人工心臓の管理、心臓移植を待つ方の心臓のケアや指導などを行っています。また、チームリーダーとしてメンバーの業務進行状況を把握し、調整なども行っています。リーダー業務には広い視野が必要ですが、キャリアラダー研修の受講により、他者から意見を引き出すためのコミュニケーションや、新人指導の適切な方法などを学

ぶことができました。看護研究の研修を通して、現在行っている看護などがより良いものか根拠をもって考えられ、実際に患者さんへのケア向上に活かせる場面も増えたと感じます。自身の成長により患者さんの苦痛を軽減できると、喜びとやりがいを感じますし、それがモチベーションにもなります。さらに学んだ成果をメンバーと共有することで、スタッフ全体の意識

向上にもつなげられています。患者さんに対しては、まずは急変を防ぐことを重視し、なるべくそばに行き話をして信頼を得るよう、検査結果なども具体的に説明してご納得いただくよう心がけています。現在、補助人工心臓管理技術認定士の資格を取得していますが、今後も高度な知識を身につけ、患者さんのためにキャリアを積み重ねていきたいと学習を続ける毎日です。



病棟の状況に応じ、メンバーが相互補完できるように調整するのもリーダーの役割。



患者さんの状態を、常に多角的にとらえる先輩の視点は、とても勉強になります。



患者さんの情報をチームで共有しながら一人ひとりの個別性に寄り添う

佐野 史佳（入院棟A8階北 チームメンバー 2018年4月入職）

内科・外科の混合病棟で、術後の管理や、副作用・合併症が出た場合のケアを行っています。チーム全体で看護を行うことはミスを防ぐうえでも重要なことです。日々状態が変化する患者さんの情報を多くのメンバーで共有し、多角的な視点で話し合うこともできます。これが、より個別性に寄り添える看護につながっていると感じています。患者さんの急変時などに自分の

考えが正しいのか迷ったとき、経験豊富なチームリーダーにアドバイスをいただけるのは、やはり安心感があります。私自身、キャリアラダーのレベルⅡを取得した頃から、より広い視野が必要な立場となったことを実感しました。いまはメンバーの一員として、報告・連絡・相談を適切なタイミングで簡潔に行い、常にリーダーが状況を把握しやすいよう配慮して、病棟全体

の円滑な業務進行につながるよう心がけています。キャリアラダー研修では他部署の同期とも仲良くなれ、お互い励まし合い、良い刺激にもなりました。いまはまずジェネラリストとして、さまざまな診療科に対応できる看護師となり、そのなかで今後のキャリアを探っていきたいと思っています。

※撮影当時のレベルⅡは現在のレベルⅢに相当します

CHECK!

- ☑ キャリアラダー：「キャリア形成のためのしご(ラダー)」を意味し、東大病院では、レベルⅠ～Ⅴの段階を設定しています。
- ☑ 報告・連絡・相談：社会人の基本「報連相」は、看護師にも不可欠。チーム間で密に行うことで、東大病院の看護をより良いものになっています。

キャリアラダーで、各レベルの目標に向けて 段階を踏みながら、一人ひとりが主体的に学び続けます。

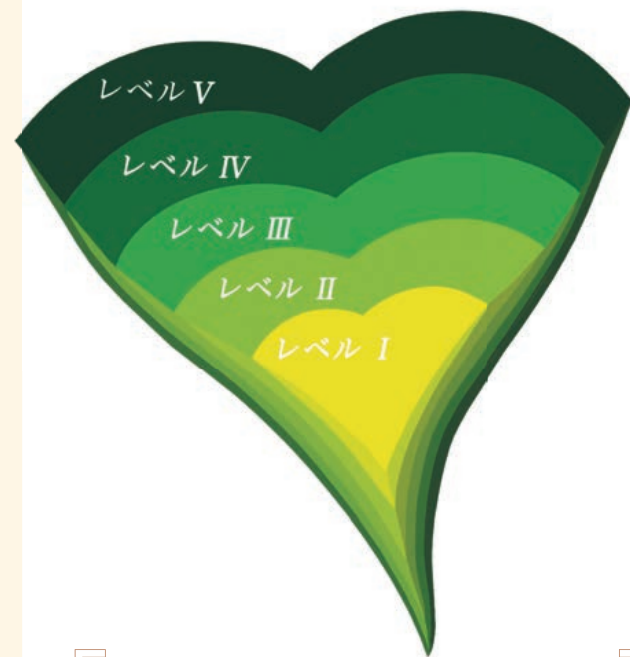
社会に貢献できる自律した看護専門職として
自己を成長させ続けられるよう、
キャリアラダーを導入しています。

OUR
CAREER.1

キャリアラダー

一人ひとりが目標を持ち、継続的に学べるシステム

レベルごとの到達目標達成のために、研修受講、部署内での実践、院内外における研修・学会参加などで自己研鑽を積み、ラダーを取得。個人のキャリアプランに応じて選択できる柔軟な仕組みです。



キャリアラダー

一人ひとり(個々)の看護職員が目指すもの

当事者意識を持ち、主体的に能力開発に取り組む。

「いちよう」モチーフのキャリアラダー

キャリアラダーでは、レベルが上がるごとに専門職業人としての広がりや深みを増していく成長のイメージを、イチョウのモチーフに託しています。

■東大病院キャリアラダー取得システム (各レベルごとに下記認定が必要)

チャレンジレベルへのエントリー



キャリアラダー研修の受講 + 役割遂行・自己研鑽

キャリアラダーレベル別研修

各レベルの目標を達成できるように取り組む研修です。レベルⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳは取得すべきレベルと位置づけています。

役割遂行自己研鑽

部署での役割や受講した研修に応じてポイントが付与され、レベル認定に必要なポイントを獲得します。



レベル認定申請



看護実践評価

臨床看護実践能力

患者の意思や自主性を尊重しながら、確かな知識・技術・判断、倫理観に基づいて、同僚、多職種との役割を尊重した協働関係を築き、患者に最適な看護を提供する

組織的役割遂行能力

組織の一員としての自覚と責任を持ち、相互に支援しあいながら、互いの能力を最大限発揮できるよう、自らの役割を果たす

看護研究

研究手法を用いて、日々積み重ねている看護実践を可視化し、発信する

自己教育

医療の進歩、社会の変化に対応する高度な専門能力を習得し、専門職業人として成熟するため、自ら学び続け、実践に活かす



レベル認定

Senpai's Voice

Part.2

自身の成長を振り返り、前向きに頑張る一助に

高橋 紀乃 (入院棟A12階北 2019年4月入職)

現在、内科病棟で勤務し、キャリアラダーはレベルⅡです。このシステムは院内統一の評価基準なので、自分の客観的な学習状況を整理しやすく、先輩方に把握していただくうえでも役立っています。キャリアラダー研修では看護展開方法を時間をかけて深く学べ、得たことを患者さんに

還元できていると感じます。他部署の看護師の意見に触れ、新たな視点を持つきっかけにもなりました。今後についても、身につけるべき看護と時期の目安がキャリアラダーでわかり、学習計画も立てやすく、入職時からの成長を再確認できることで自身の励みにもなっています。



※撮影当時のレベルⅡは現在のレベルⅢに相当します

OUR
CAREER.2各レベル
について

知識や技術を習得しながら、確実に成長

東大病院のキャリアラダーは、各自のライフプランに合わせ、研修の受講時期や内容を自分で選択できる点が特長。各レベルの目標達成を目指し、着実に看護師としてのキャリアを積んでいきます。

レベルの定義		キャリアラダーレベル別研修		役割遂行・自己研鑽
レベルⅠ		基本的な看護手順に従い、 必要に応じ助言を得て 看護を実践する	● ストレスマネジメント ● 医療安全 ● 感染管理 ● コミュニケーション	● AED/BLS ● 看護倫理 ● 看護技術
レベルⅡ		標準的な看護計画に基づき、 自立して看護を実践する	● 看護過程の展開 ● メンバーシップ	[役割] 係活動 フロア委員活動 プリセプター エルダー 学生実習指導者 [自己研鑽] 院内外研修 学会参加 看護研究学会発表 他
レベルⅢ		患者と患者をとりまく人々に 個別的な看護を実践する	● 看護を語る ● リーダーシップ ● 看護倫理	
レベルⅣ		幅広い視野で 予測的判断をもった看護を実践し、 組織的な役割遂行を実践できる	● コミュニケーション ● 看護倫理 ● 看護研究	
レベルⅤ		より複雑な状況において、 患者と患者をとりまく人々にとっての 最適手段の選択のもと、 QOLを高めるための看護を実践し、 組織的にも広範囲な役割を実践できる	● マネジメント(院内留学含む) ● 看護研究	

ナースィング・スキル日本版で
長期的に学びをサポート

当院看護部監修のもと開発、動画や図解、チェックリストなどを用いて、看護技術を確認・習得できるオンラインツールです。新人看護師から管理職まで、必要な項目を必要ときに自己学習でき、効果的にスキルアップを図れます。

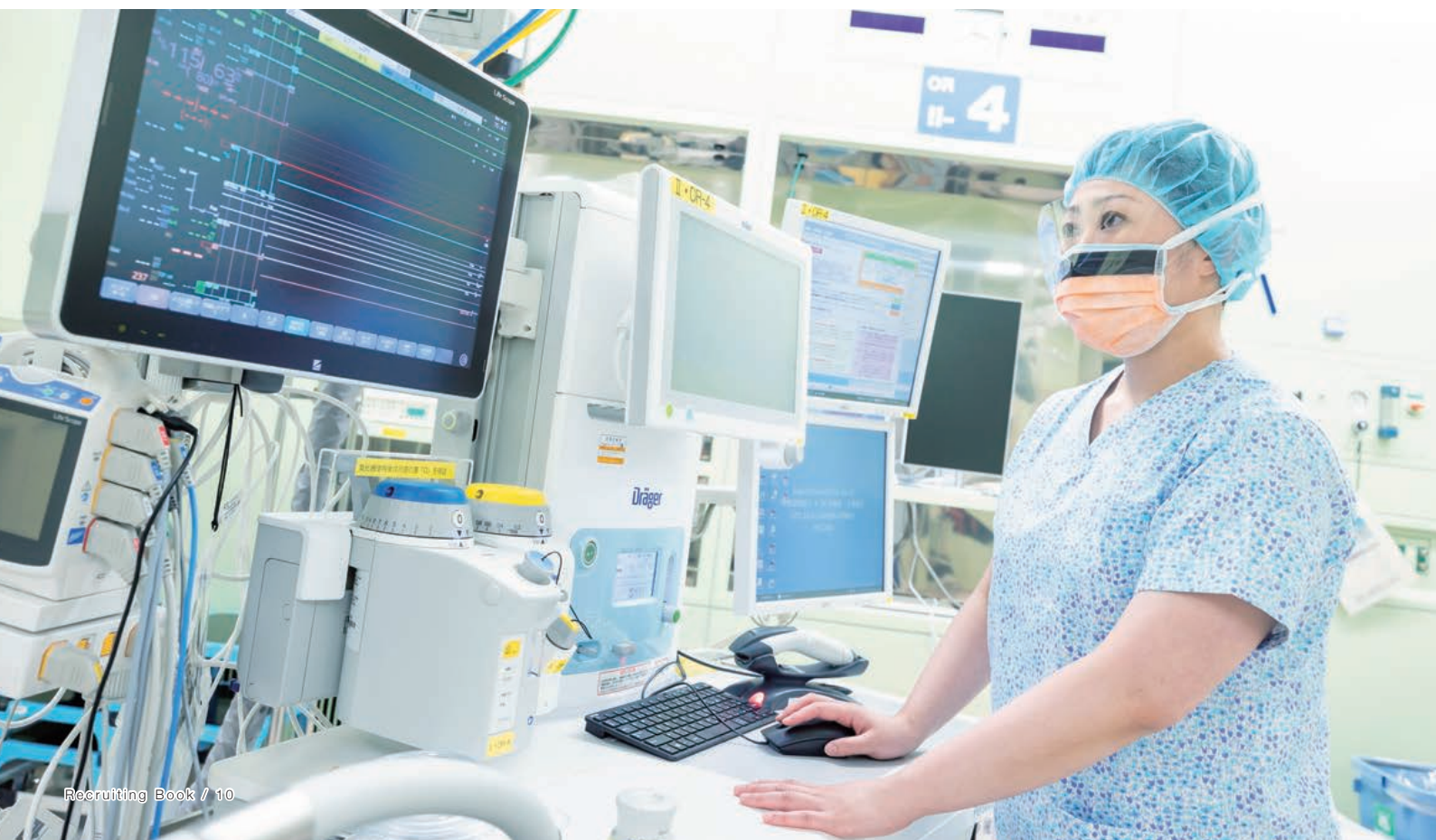


Be Professional!

チーム医療/スペシャリスト

専門性を高め、互いに活かす合う。

高度急性期医療を担う病院として、多職種カンファレンスや専門スタッフの部署横断的な活動など、チーム医療に注力しています。また、各専門分野のスペシャリストの育成にも力を入れ、資格取得を支援しています。



患者さんの思いに耳を傾けつつ 多職種と連携し、最適な治療や看護を探る

大崎 菜津子（入院棟B6階 2010年4月入職）

女性外科で、女性器のがんや良性腫瘍などの患者さんの看護を行っています。患者さんに最適な治療や看護などを提供するためには、医師や看護師だけでなく、多くの人の力が欠かせません。そのため多職種のスタッフが連携して、専門知識や技術を提供し合い、チームで医療を提供していきます。例えばNSTカンファレンスでは、化学療法の副作用で食欲がなくなった患者さんが必要な栄養を摂取できるよう、医師・看護師・栄養士・薬剤師で、食事や点滴について話し合います。退院支援カンファレンスでは、地域医療連携センターと一緒に、患者さんが望

む療養先や治療方針を選ぶように支援します。患者さんにとって看護師はいちばん身近な存在であり、医師にも言えなかった率直な気持ちを吐露されることも少なくありません。その話を丁寧に聞いて精神面をフォローし、納得して治療を選択できるように支えています。患者さんから得た情報を共有し、必要に応じて参加メンバーを考え、日時を調整して早急に多職種カンファレンスを主催することを、常に意識して働いています。患者さんのご希望を第一に、多職種同士をつなぎチーム医療の調整役を担うことも、私たちの大切な役割だと考えています。



治療方針や現状を医師と共有し、必要な看護をタイムリーに提供していきます。



手術看護を極めたくてステップアップ 基本的な看護の大切さを、後輩に伝えたい

近藤 郁美（手術部 手術看護認定看護師・副看護部長 2007年4月入職）



患者さんは麻酔下にあるため細かく状態を確認。褥瘡などを防ぐため体位管理も慎重に。

入職して手術部に所属後、途中、他県の大学病院に勤務した時期も含め、手術看護認定看護師の先輩方とともに働き、学ぶ機会がありました。細かい手術方法は違って提供する看護は同じという普遍性と、基本的な看護の大切さを再認識したことが、スペシャリストを目指したきっかけです。その後、東大病院に戻ってから半年間勉強に専念、手術看護認定看護師資格を取得しました。手術部看護師はあらゆる診療科の手術に対応し、患者さんの心身を整える術前から、訪問して合併症がないか確認し、その思いを傾聴する術後まで、周

術期を通して患者さんに寄り添います。認定看護師となった現在は、学んだことを自部署に還元し、全員が一定レベルの看護を行えるよう部署の体制を整えています。また、認定看護師のネットワークを活用し、他施設と手術看護の情報交換をして、それを部署に提供しています。病棟とは少し違う業務かもしれませんが、術中の器械出しも、看護師が流れを把握し器械を渡すことで手術や麻酔時間の短縮になり、患者さんの負担軽減につながります。これも大切な「看護」であることを、ぜひ後輩たちにも伝えていきたいと思っています。

CHECK!

- ☑ 多職種カンファレンス：各分野の専門家がそれぞれの視点で、患者さんにとって最善の医療を提供できるよう考え、話し合います。
- ☑ 手術看護認定看護師：患者さんの手術侵襲を最小限にし、二次的合併症を予防するための安全管理や、術後期における継続看護を実践します。

職種を超えたチームの総合力で、 より良い医療・看護を提供していきます。

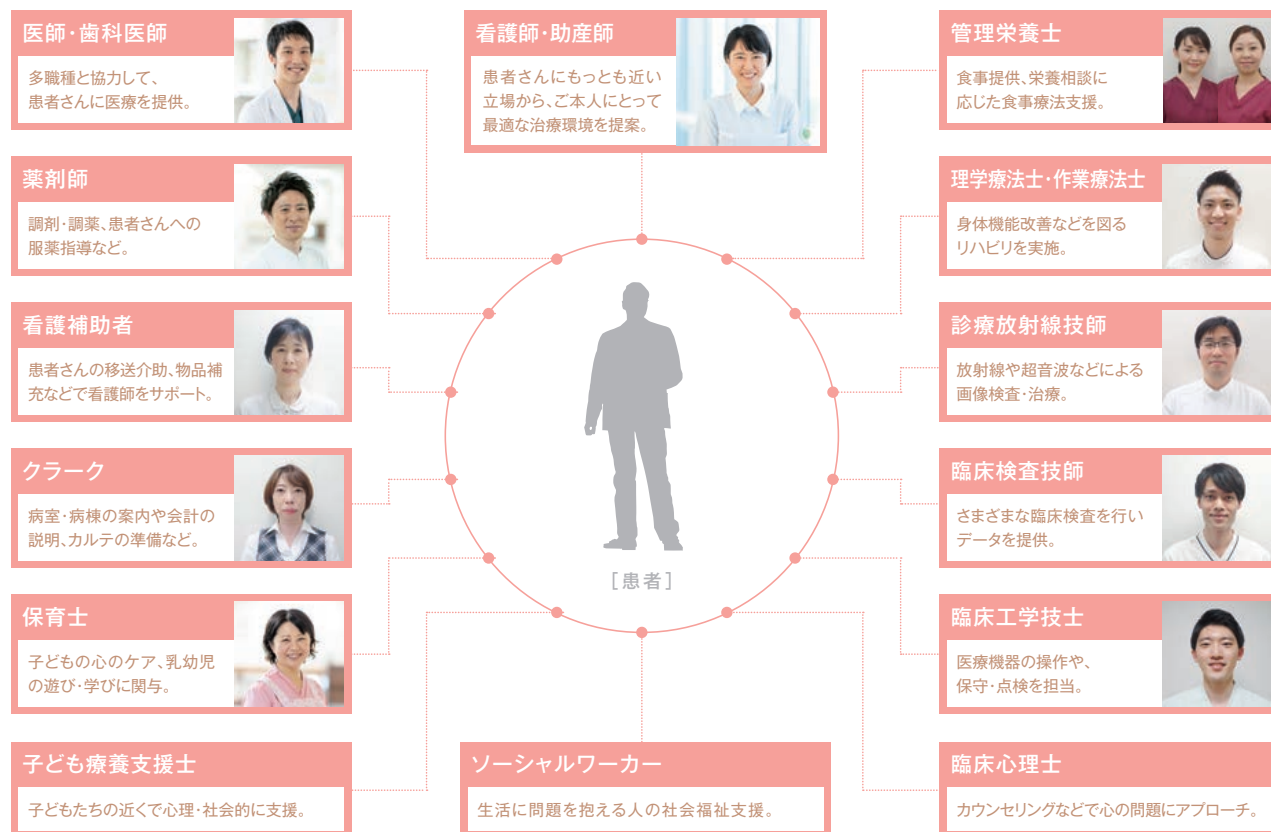
病棟スタッフと多職種が協働し、それぞれの専門性を活かしながら、
質の高い医療の提供を目指しています。

OUR TEAM MEDICINE.1

知識を高める
多職種連携

患者さんを中心に、多くの専門職種が連携

患者さんに寄り添い、より良い医療を提供するため、定期的に多職種カンファレンスを行っています。
多くの専門職種が必要に応じて参加し、情報を共有しながら治療方針を検討していきます。



Check!

看護学専攻との協働も

東京大学健康総合科学科、医学系研究科健康科学・看護学専攻は、病院の看護部とチーム医療や看護研究においても連携・協働しています。教育・研究・実践の3つの力を合わせ、患者さんにとってより良いケアを追究しています。

Senpai's Voice | Part.3

多角的な視点で患者さんにアプローチし、質の高い医療へ

池田 菜々恵 (入院棟A14階 2017年4月入職)

ステロイドの長期内服や長期入院となる患者さんが多い内科病棟で、理学療法士・作業療法士・地域医療連携センター・栄養士、さらに退院支援の際はケアマネージャーや訪問看護ステーションなどと連携しています。医師の治療方針を共有して多職種が知識を出し合い、多角的な視点で患者さんを支援することで、各職種だけでは解決できない問題にも取り組み、より質の高い医療につながっていると感じます。そのなかで看護師は、患者さんやご家族に寄り添い、その「声」を他の医療者に伝える大切な役割を担って

います。医療の問題と患者さんの希望のギャップに気づき、双方に最善といえるゴールに向かえるよう問題提起し、カンファレンスを開いています。自ら多職種に関わることで自身の成長にもつながり、何より患者さんが笑顔で納得され、良い方向へ進んでくれることに喜びを感じています。

各分野の専門チームもあり、部署横断的な活動を行っています。

- | | | | |
|--------------------------------|--|--|---|
| 東大病院の
多職種カンファレンス
(チーム医療) | <ul style="list-style-type: none"> ● 医療対策安全センター ● 感染対策チーム(ICT) ● 地域医療連携センター ● 呼吸療法サポートチーム(RST) | <ul style="list-style-type: none"> ● 緩和ケアチーム ● 栄養サポートチーム(NST) ● がん相談支援センター ● 患者相談・臨床倫理センター | 他 |
|--------------------------------|--|--|---|



OUR TEAM MEDICINE.2

高いレベルの
チーム医療

高度なチーム医療を支える、充実の院内環境

各病棟スタッフと専門職種、専門チームが協働し、それぞれの知識や技術を活かしながら、特定機能病院ならではの質の高い医療や専門的な指導・ケアを実践。それを支える院内環境も充実しています。



身近で活躍するスペシャリストたちの存在が、成長を続ける励みに

各専門分野のスペシャリスト、「アドバンストナース」。

専門領域の学びを深め、看護師としてさらに成長するその姿に、多くのスタッフが刺激を受けています。

Senpai's Vioce Part. 4

スペシャリストに関わりながら働ける環境

山下 紗菜（入院棟B8階 2019年4月入職）

より質の良い看護を提供するうえで、スペシャリストはとても頼りになるリーダー的存在です。その知識や技術は、看護実践だけでなく、他の看護師への教育活動にも活かされています。私の働く血液腫瘍内科の病棟では、がん化学療法や緩和ケア、がん性疼痛看護、皮膚・排泄ケアの認

定看護師が、多角的な視点からアドバイスし、薬剤調整やケア方法を指導してくださるため大変心強いです。私自身、スペシャリストと関わることで、自分では気づけない視点から助言をいただけるので、観察力やアセスメント力の向上にもつながっていると実感しています。



OUR SPECIALIST.1

当院で活躍する
スペシャリスト

部署内の看護の質を高め、部署横断的に活動

専門性を発揮し、多彩な場で活躍する、アドバンストナースの「認定看護師」「専門看護師」。当院はその資格取得をサポートし、それぞれの能力を活かせる環境を整えています。

〔認定看護師〕



大野 道幸（手術部 呼吸器疾患看護認定看護師、特定行為研修終了者 2007年4月入職）

知識と経験を広めて 少しでも良い呼吸の実現を

現在、呼吸器疾患の患者さんへの看護実践やスタッフの教育など、さらに呼吸サポートチームとして病棟ラウンドなどを行っています。院内へ広めた知識や経験が、多くの患者さんの利益に結びつくことを実感しています。看護部の推薦を受けて受講した認定看護師の教育課程では、整った環境のなか、安心して学ぶことができました。

活動分野

- 救急看護
- 糖尿病看護
- 不妊症看護
- 皮膚・排泄ケア
- 手術看護
- 摂食・嚥下障害看護
- クリティカルケア
- 緩和ケア
- 集中ケア
- 慢性心不全看護
- 感染管理
- 新生児集中ケア
- がん化学療法看護
- 認知症看護
- 慢性呼吸器疾患看護
- 訪問看護
- 乳がん看護
- がん性疼痛看護
- 小児救急看護

〔専門看護師〕



山上 睦実（業務管理室〔緩和ケアチーム〕がん看護専門看護師 2003年4月入職）

院内全体をフィールドに 一人ひとりの緩和ケアを

専門チームの専従看護師として、緩和ケアを必要とする院内の患者さんに看護を行っています。ご本人が大切に思うことが尊重されるケアを目指しながら、がん診療に携わる他施設の医療者や、がんの当事者団体と関わる活動も並行して行い、視野を広げています。資格取得にあたっては修学休職制度を利用し、安心して学習に専念できました。

活動分野

- 小児看護
- 精神看護
- がん看護

〔特定看護師〕



長岡 祐里（手術部 特定行為研修終了者 2011年4月入職）

高いアセスメント力を活かして チーム医療の推進力に

手術部での麻酔管理業務やICU系病棟での人工呼吸器管理等で、知識を活かしたアセスメント力で、円滑なチーム医療を推し進めるべく活動をしています。大学病院などの高度急性期病院においては、部署での教育的な役割も期待されており、看護の質向上においてリーダーシップを発揮し、チームを牽引する存在を目指しています。

実践している特定行為

- 経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
- 侵襲的陽圧喚起の設定の変更
- 人工呼吸器からの離脱
- 直接動脈穿刺法による採血
- 橈骨動脈ラインの確保
- 脱水症状に対する輸液による補正
- 硬膜外カテーテルによる鎮静剤の投与及び投与量の調整
- 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整

スペシャリストが活躍する環境

日々身近で活動している当院のスペシャリスト。活動の場は多彩ですが、院内認定看護師は部署内で専門性を発揮し、病棟の看護の質向上のために尽力しています。スペシャリストには、部署横断的に多職種の中で専門性を発揮する形もあり、その他、移植コーディネーターや地域連携などの分野で高い専門性を発揮して活躍する看護師もいます。



ともに働き、成長を続けられる制度

■休職制度

職務にプラスになる資格取得などを旨とし、大学や大学院に進学を希望する場合は、3年間を上限に休職が可能です。復帰を前提とした制度であり、休職期間の半分を勤務の継続期間に加算するなど、安心して学業に専念できる体制を整えています。ただし給与の支給はありませんので、経済的基盤ができてからの活用をおすすめしています。

■人事交流・転任制度

全国42大学44病院の国立大学病院間でのネットワークを利用し、双方の病院の条件に基づいた人事交流や転任が可能です。人事交流は原則として、ほかの国立大学病院で2年間勤務して学んだ後、当院に戻り、学んだ知識や技術を活かして働くことを前提としています。条件に合えば、転任制度によりほかの国立大学病院で働くこともできます。



職員やその家族が、安心して充実した生活をおくれるよう、福利厚生制度や快適な職場環境を整えています。

子育て支援・介護支援

充実した子育て支援制度があり、毎年多くの職員が産休・育児休業制度を利用して職場復帰しています。復帰後は育児中の職員を対象とした研修もあり、看護職として成長しながら仕事と育児を両立できます。また、ご家族が2週間以上にわたり常時介護を必要とする場合は介護休暇を取得でき、勤務時間の短縮も可能です。

- 産前・産後休暇
- 育児休業制度
- 勤務時間の短縮
- いちょう保育園(院内保育園)
- ひよこケアルーム(病児保育)
- 介護休暇・介護休業



保養施設・サービスなど

【利用可能施設】 東京大学の施設、御殿下記念館、国家公務員共済組合の宿泊施設などを利用することができます。

【リフレッシュルーム】 院内にある職員専用のマッサージルームです。1回500円で利用でき、誕生日には無料サービスもあります。

【図書館】 東京大学敷地内にある東京大学総合図書館、医学図書館などを利用できます。看護研究などの文献検索には、東京大学の文献検索システムも利用可能です。

【その他サービス】 東大病院で法人契約をしている福利厚生サービス「えらべる倶楽部」を通じて、旅行、宿泊、グルメ、レジャー施設、保育・家事サービスなどの各種チケットやサービスを、会員価格で利用することができます。



リフレッシュルーム

職員宿舍

病院敷地内にワンルームタイプの看護職員等宿舍があります。複数の駅が使える利便性を兼ね備えており、快適な環境で過ごすことができます。

- 対象／32歳までの独身者、地方出身者優先
- 入居期限／3年まで
- ※看護経験、雇用形態、通勤時間により入居条件が異なる場合があります。



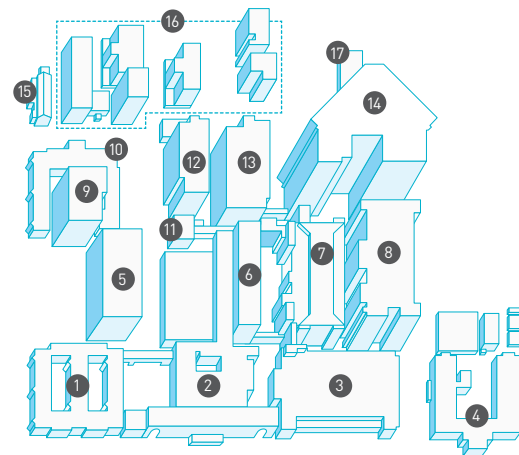
宿舍外観



室内

東大病院内マップ(東京大学病院本郷キャンパス内)

東大病院は、緑が多く静かで安らげる、東京大学本郷キャンパス内にあります。また、新宿・表参道・六本木・丸の内など都内の主要エリアへのアクセスの良さも併せ持っています。



- | | | |
|----------|---------------|---------------------|
| ① 第一研究棟 | ⑦ 中央診療棟1 | ⑬ 入院棟B |
| ② 管理・研究棟 | ⑧ 中央診療棟2 | ⑭ 入院棟A |
| ③ 外来診療棟 | ⑨ 分子ライフサイエンス棟 | ⑮ ドナルド・マクドナルド・ハウス東大 |
| ④ 南研究棟 | ⑩ 臨床研究棟東 | ⑯ 看護職員等宿舍 |
| ⑤ 臨床研究棟A | ⑪ 中央棟東 | ⑰ いちょう保育園 |
| ⑥ 中央棟南 | ⑫ 中央棟北 | |



敷地内に働やすい環境が揃っています!!



院内には職員食堂、コーヒーストップやコンビニ、郵便局や銀行ATM、ヘアサロンなどさまざまな施設が揃っています。



就活の疑問！キチンと解決 Q&A

Q

遠方からの就職です。同じ学校の出身者もいないため、職場になじめるか心配です。

A

さまざまな大学の出身者がいるので安心です。

全国各地の大学・専門学校などから入職しています。さまざまな学びの背景を持つ人同士、互いに協力しあっています。

Q

男性の働きやすさが気になります。どのような雰囲気でしょうか？

A

「ナースマンの会」もあり、ネットワークを築けます。

毎年、院内の男性看護師が集うナースマンの会では、部署を超えてさまざまな情報交換が行われ、今後のキャリアを考える機会となっています。



Q

キャリアラダー研修以外に学ぶ機会はありますか？

A

勉強会や多彩な研修など多くの学びの場があります。

配属された部署での勉強会や、多職種が講師となる研修もたくさんあります。対面の研修だけでなく、最近はオンライン研修も充実しているので、自宅からの参加も可能です。

Q

コロナ禍での就活に悩んでいます。アドバイスなどありましたら教えてください。

A

自分なりに情報を集め、体験談なども参考にしていました。

コロナ禍でインターンシップや病院説明会には参加できませんでしたが、調べたことをノートにまとめ、当院で働く同じ大学出身の先輩に話を聞くなどしていました。全国の学校から多くの方が入職されていることは、遠方出身者の私にとって大きな安心材料でした。現在は、先輩方との質疑応答もあるオンライン病院説明会が開催されているので、そちらを利用するのも良いと思います。

Q

看護師以外の職種の人たちとカンファレンスをする機会はありますか？

A

さまざまな場面で連携し、看護師とは違う視点を学ぶ機会があります。

カンファレンスなどの場だけでなく、日ごろから医師、薬剤師など、他職種の人たちとの関係は良好です。それぞれの職種が専門性をもって、看護師とは違った視点で患者さんをみているので、とても勉強になります。



就活も安心!!